

令和3年度第1回 四万十市まち・ひと・しごと創生会議 議事概要

○日 時 令和3年4月27日（火） 14:00～16:07

○場 所 市役所本庁舎3階 防災対策室

○出席者 委員12名中9名出席

○配布資料

会議次第

資料1：四万十市まち・ひと・しごと創生会議資料

資料2：四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理シート（下半期）

資料3：四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 一覧（第1期）

資料4：四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 一覧（第2期）

<結果概要>

1 開会 14:00

- ・新任委員の紹介
- ・会議成立報告

2 議事 14:08

(1) 四万十市の人口等について

- ・事務局説明

資料1の1ページをもとに、四万十市の人口等について説明

【質疑等】

A 委 員 合併当時の人口からどの程度減少しているのでしょうか。

事 務 局 平成17年10月1日現在で38,251人となります。

会 長 約6,000人が減少しているということになります。

(2) 産業の状況等について

- ・事務局説明

資料1の2～3ページをもとに、四万十市の産業状況、新型コロナウイルス対策等について説明

【質疑等】

会 長 新型コロナウイルス感染症対策に掲げられている小中学校空調設備整備には、以前の会議で話しがでた学校体育館の空調設備も入っていますか。

事 務 局 避難所となる体育館の空調設備のことと思いますが、ここでの事業はそういったものでなく、教室の空調整備になります。

(3) 総合戦略の進捗状況について（基本目標1）

- ・基本目標1：事務局説明

資料1の4～6ページをもとに、第2期総合戦略の基本目標1に位置づける具体的事業の主な取り組みについて説明

【質 疑】

特になし

・基本目標2：事務局説明

資料1の7ページをもとに、第2期総合戦略の基本目標2に位置づける具体的事業の主な取り組みについて説明

【質 疑】

会 長 移住ですが、過去に比べて相談件数と相談会への参加回数は少なくなっていますが、ホームページアクセス数が非常に伸びている要因は何でしょう。

事 務 局 コロナの関係で在宅時間が長くなったことがひとつあると思います。移住希望の方がホームページから空き家の物件であったり、こういった地域なのか、情報を取得する機会が増えているものと思います。

移住相談については、相談会で例年かなりの件数を受けていましたが、コロナの関係で都市部での相談会に参加できなかったことから落ち込んでいます。また、オンライン開催もされていますが、どうしても対面に比べると相談件数は少ない状況となっています。

B 委 員 移住者の方はこういった仕事をされているのでしょうか。また、どのような経路で仕事につかれているのか分かれば教えてください。

事 務 局 仕事が決まってから移住される方もいますし、来られてから仕事を探す方もいます。移住者の方が求める情報として、住居のことと仕事のことがありますので、ハローワークの求職情報にリンクを貼らせていただき、仕事の情報発信をしているところです。一次産業の農業などを希望される方については、就農の研修の場とも繋いだりしています。

C 委 員 移住相談のオンライン開催ですが、NPO法人四万十市への移住を支援する会が実施しているのは、1対1での相談対応でしょうか。それとも多数でしょうか。また、仕事のことですが、福祉分野では人がいなくて困っています。短時間でも良いから人が欲しいという状況ですが、福祉関係との連携はされているのでしょうか。

事 務 局 オンラインでの移住相談ですが、希望があれば1対1での相談対応もしています。また、県などがオンラインで相談会を開催する場合は、イベントに来られた不特定多数の方の相談対応をしています。次に、福祉関係の職業とのマッチングですが、福祉に限定した取り組みは現在していませんので、今後の参考にさせていただきたいと思います。

- D 委員 オンライン開催はどういった時間帯に行っているのでしょうか。また、移住したい方の中には農業に興味がある人もいると思います。集落営農で機械を借りる話がありましたが、未経験で機械を持っていない人が来られても、そういったことができるということをホームページなどで紹介しているのでしょうか。
- 事務局 オンライン開催の時間帯については、移住の相談会は週末の昼間に開催されることが多く、そこに参加して対応している状況です。夜間に開催される相談会に参加した経過もありますが、昼間の時間帯がメインになります。
次に、集落営農など、そういった細かな情報をホームページで発信できていないのが現状です。就農することは簡単ではありませんので、農業の部署に繋いで専門のところからお話しをしていただくようにしています。
- E 委員 高等教育機関の誘致ですが、開校が令和5年4月を想定されていて、募集する生徒の数もかなりになるとお聞きしています。近隣市町村や地元の学生はさほど問題はないかもしれませんが、郡外や県外からの学生が四万十市内で生活を送るにあたり、市と学校法人、市内の不動産などが連携し、安く住まいを提供することで、安心して暮らしながら学べるという保障をしてあげれば、将来的にこちらに残って福祉や医療施設に勤務し、定住にも繋がる可能性があるのではないかと思います。
- 事務局 委員が仰ったように令和5年4月の開学に向け誘致に取り組んでおり、300名以上の学生が市外から四万十市に住むという想定をしています。そういった中で、寮を整備するという方向にもありませんので、街なかでアパートを借りて通学していただくことを想定しており、家賃補助などの支援があればということは学校法人からも話しは出ておりますが、市としましては、市外から来られた方にもこちらの医療機関に勤務していただきたいと考えていますので、勤務されれば奨学金を免除できないかということについて、卒業後の定住の観点から検討している段階です。
- 会長 参考ですが、高知大学には5千人の学生がいて約2割が高知県内、残りは県外の学生であり、その多くが高知に残らず、首都圏などに就職するといった状況です。大学としても、地方創生の取り組みとして、高知県で暮らすこと、働き先の魅力をしっかり学生に伝えるようという動きをしており、私のプログラムを受けることで地方創生推進士という称号を付与したり、企業に対して受け入れへの理解を醸成していくことなどを行っています。
四万十市の取り組みは、専門的な技術職ということで我々と同様の考えではないかもしれませんが、高等教育機関と一緒に地域の魅力を伝えるということは、学生も感銘を受けると思いますので、地方創生の良い取り組みだと思えます。

・事務局説明

資料1の8ページをもとに、第2期総合戦略の基本目標3に位置づける具体的事業の主な取り組みについて説明

【質 疑】

F 委 員 ファミリーサポートセンターの取り組みですが、3月時点で西土佐地域の会員はいなかったと思います。西土佐地域でも必要としている方はいると思いますので、元保育士の方に声をかけてみるとか、保育所、学校、学童などにチラシを置くなどしてはどうかと思います。

子育て支援課 昨年度から検討しておりまして、西土佐地域だけの問題でなく、市内全域のことになるかと思っています。ご意見いただいたように退職された保育士への声かけや、小中学校に対しての制度周知なども行っており、今年度は更に充実させたいと考えているところです。とにかく認知度を上げることが急がれますので、ファミリーサポートセンターを受託しているスマイルはたっことも連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

C 委 員 スマイルはたっこの立場からお答えしたいと思います。西土佐地域の保育園などにも説明に伺っていますが、結果に繋がっていない状況です。先生方も理解を示してくれており、良い反応があったと職員から聞いていますので、継続して定期的の実施していくことが大切と思います。
認知度を上げるため、皆様のご協力をいただきながら、子育てされている方々が頼りにできるような体制を整えたいと思います。

・事務局説明

資料1の9ページをもとに、第2期総合戦略の基本目標4に位置づける具体的事業の主な取り組みについて説明

【質 疑】

会 長 バスの車両更新ですが、車イス対応の車両でしょうか。

事 務 局 車イス対応の車両を更新しております。

会 長 GTFS の取り組みを紹介していただきましたが、高知西南交通のバス停で車イス対応しているものがいくつかあり、県おもてなし課の取り組みで車イス対応しているというサインを Web で発信するようにしています。必要とされる方にとっては頼りになる情報であってほしいと思います。

C 委 員 あったかふれあいセンターですが、中村地域には2つありますが、通所介護、通所デイケアを卒業された方の受け皿といいますか、機能が上がった方が健康維持のために通える施設が四万十市は少ないと感じます。黒潮町などは地域ごとにコンスタントにあるようなイメージですが、あったかふれあいセンターを増やす予定はあるのでしょうか。

高齢者支援課 あったかふれあいセンターを増やす計画は今のところありません。こういった事業を受けていただけないというのが実情です。内容は違いますが、四万十市が独自で行っている健康福祉委員会では、各地域で住民主体による健

康づくりや見守り活動を行っていますので、元気な方でないと参加できないかもしれませんが、そちらにも参加していただければと思います。

四万十市内であったかふれあいセンターが3箇所というのは、たしかに少ない気もしますので、今後検討はしていきたいと思います。

A 委員 デマンドバスですが、利用者の固定化が見られると思います。電話がかけづらいなど予約ができない方もいますので、難しいかもしれませんが定時で運行するバスなどの方策を考えていけば利用が増えるのかなと思います。

事務局 予約ができない方への利用方法の周知なども必要な取り組みと思います。他の地区からも予約の仕方が分からないから教えてほしいといった相談もありましたが、お声かけいただければお話しさせていただきますので、地域の中でも教え合いながら広めていただき、利用される方を増やしていければと思います。

会長 人口が減っていく中で、公共交通の利用者がこれから増えていくというのは厳しい面もあると思います。そういった中で、デマンドバスのような路線や時間が柔軟なものは使い勝手が良いと思いますが、高齢者の方々にとっては電話がしづらい実態があるというのは実感としてあります。解決策は見つからないのですが、考え続けるしかないというところでデマントバスが最適な選択肢と決めるにはまだ早いかと思います。

G 委員 高知県では、集落活動センターの取り組みとあったかふれあいセンターの取り組みとの融合、協働を目指しています。四万十市では、あったかふれあいセンターが3箇所しかなく、集落活動センターもまだまだ少ないということで難しいと思いますが、今後あったかふれあいセンターの移送や昼食の部分などを集落活動センターに担っていただくとか、そういった動きがあれば教えていただきたいと思います。

事務局 四万十市では、集落活動センターを3箇所整備することを目標にしていますが、マンパワーが不足していることもあり、設立に時間がかかっている状況です。早くから西土佐地域では設立されており、現在は中村地域の大川筋地区で設立に向けて取り組んでいるところですが、持続可能な内容にしていきたいということがありますので、県地域本部と市が入って協議を重ねているところです。そういった中で、あったかふれあいセンターの機能についても一部補完ができるのかどうか、検討の余地があると思っています。

(4) 総合戦略の改訂（案）について

・事務局説明

資料1の10ページをもとに、第2期四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂（案）について説明

【質 疑】

会 長 基本目標 2 の KPI ですが、移住相談件数から支援登録数に変更するのは何故でしょうか。

事 務 局 現在の KPI である移住相談件数としてカウントしている数値は、移住支援登録数を用いています。移住相談件数というと、電話での問合せなども含まれている印象を受けますので、実際カウントしている移住支援登録数に変更するものです。

3 その他 16:00

【意見等】

特になし

【総 括】

会 長 ファミリーサポートセンターやあったかふれあいセンター、集落活動センターなど、ディスカッションの中でなかなか人が見当たらないという話がありましたが、これがまさに最も深刻な地方創生の問題だと思います。地方創生をどう捉えるか、人口減少は何故いけないのかということだと思います。単に人口が減ることだけでは大きな問題ではないが、地域の担い手の多様性が減ることに問題がでてくるのではないかと思います。台湾では、2018 年から日本と同じように地方創生を始めています。台北一極集中、都市部に多様な人材が流入し、地方の多様性が損なわれている。それにより起きているのは、今のような話しが非常に典型的です。

例えば、野球は 9 人で試合をしますが、昔はチームに 20 人いたのでポジション争いもしましたし、チーム内で練習試合もできた。それが 10 人になったらポジション争いにはならず、試合はできるがギリギリの状態。更に 5 人に減ったときにどうするか。ファミリーサポートセンターやあったかふれあいセンター、集落活動センターはその議論だと思います。従来のチームメイトで野球をするのではなく、いかに外と連携してチーム編成をするかであったり、移住による人を呼び込む、関係人口の創出はまさにそこだと思います。

そういったことで施策、アプローチそのものに見直しをかけていくことが、地方創生の担い手の多様性を広げるという意味で非常に重要なキーワードだったかなと思います。

最後に気になったのが産業振興計画の KPI ですが、統計データを KPI として使っているため、令和 2 年度の数値が基本目標 1 だけ埋められない。それによる弊害は何かというと、今年検証できず、データが 1 年後に揃うとなると、丸 2 年が経つことになり、サイクルが遅くなります。どこかで何か大きな問題が起きていてもそれに気付かない年月が 2 年あるということです。これをいかに短くするかが実行的な PDCA として重要ですが、以前から KPI として使っていてなかなか変えられないところもあると思いますので、中間 KPI を設定して自分達

で収集できる KPI を持つておくのは有効ではないかと感じた次第です。
あとはいつもと思いますが、総合戦略にコロナの影響がでないというのは、果たしてそれで良いのかなと思います。

4 閉会 16:07